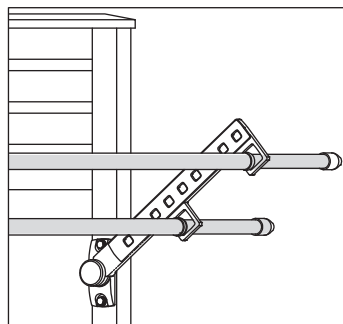
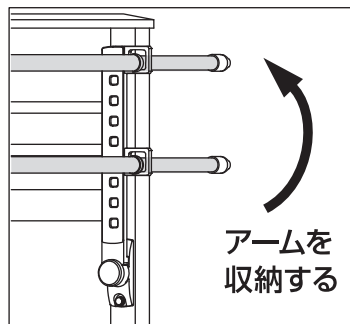
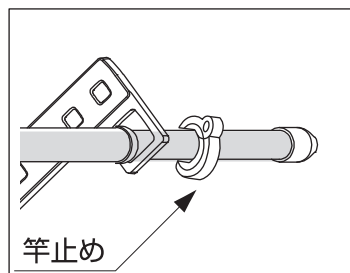
④ 使用方法

⚠ 注意（ちゅうい） ケガや器具損傷の原因となる。

●市販の物干し竿を使用する場合は、右図のように竿止め等を必ずご使用ください。

●強風時には使用しないでください。

●アーム操作時は、指のはさまりに注意してください。

1.アームを下ろし、物干し竿を竿掛け部に通して使用する。
※アームは完全に下まで押し下げる。

2.使用しないときは物干し竿を通したまま、アームを収納することができる。
※収納時は洗濯物やハンガーなどは全て外しておく。アームが下がったり、掛けていたものがベランダの外に落下するおそれがある。

⑤ お手入れ方法

⚠ 注意（ちゅうい） ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
🚫	●手すりから外したり、ボルトなどをゆるめたりしない。	手すりの損傷や、浸水の原因になり、事故につながるおそれがある。
🚫	●金属ブラシ、金属ベラ、スチール・ウールタワシ、目の粗い紙、紙やすりなどのご使用は避ける。	アルミの表面が傷つく原因になる。
🚫	●本製品を掃除する際に、シンナー、ベンジンまたはアルコールおよび有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しない。	表面が溶けたり変質・変形したりするおそれがある。
❗	●一時的に手すりから外したり、必要でなくなって除去する場合なども必ず専門の業者に相談すること。	

●軽い汚れの場合水で濡らした雑巾か、柔らかいスポンジなどで製品全体をふく。その後、乾いた雑巾で乾ぶきする。

●ひどい汚れの場合中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いする。その後、乾いた雑巾で乾ぶきする。
※台風通過後は、必ず水洗いする。
（塩分を含んだ雨・風にさらされている可能性があります。）

●地域別によるお手入れ回数の目安

お住まいの立地条件	お手入れ回
臨海工業地帯	3回/年
海岸近く･工業地帯	3回/年
市街地	2回/年
田園地帯	1回/年

⑥ 製品安全への取り組み

弊社では、当製品を安全にご使用いただける様に、「製品安全情報表示システム」を取り入れて、当製品の取扱説明書を作成しています。詳しい情報はモバイルサイトへアクセスください。

⑦ 基本仕様

品　名：持出し手すり用物干金物スクエア　オフセットタイプ
用　途：屋外用物干し掛け
型　番：KC40
総重量：約1.3kg（1セット）
材　質：アルミ、ステンレス、POM等
原産国：中国　　　仕上げ：日本

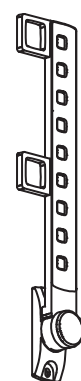
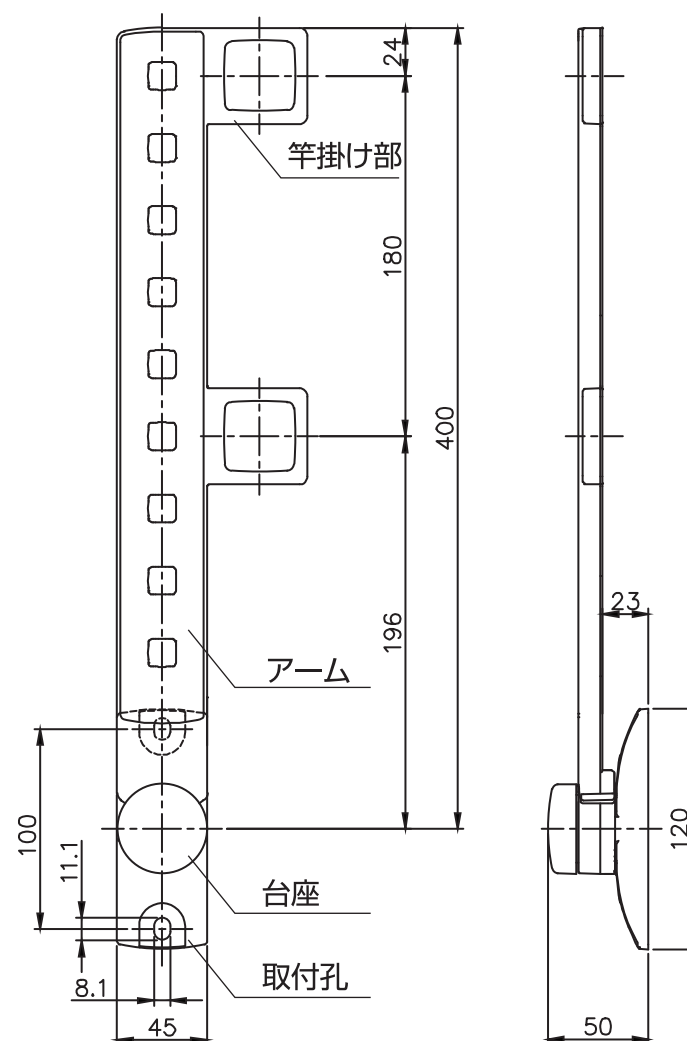
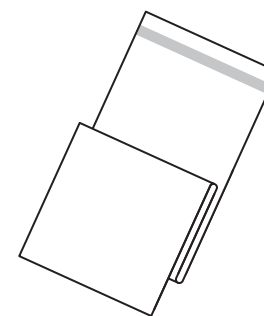
タカラ産業株式会社
〒577-0013
大阪府東大阪市長田中2丁目2番30号　長田エミネンスビル2F
TEL (06)7711-3080
http://www.takaranet.co.jp

130830

DRY・WAVE ドライ・ウェーブ

SQUARE

持出し手すり用 物干金物［スクエア］

KC40　目安重量：30kg（1セットあたり）

●本製品は室外専用です。
●洗濯物干し以外の用途に使用しない。

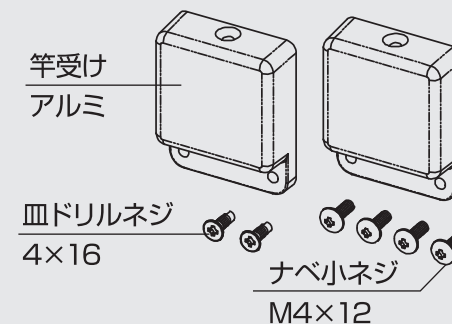
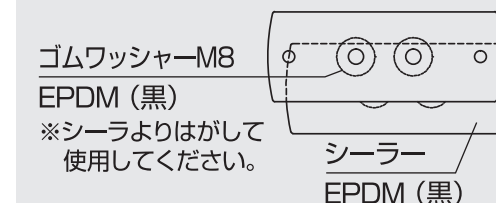
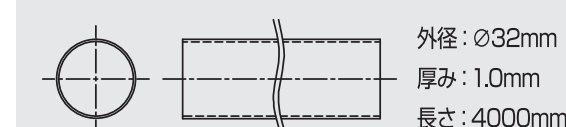
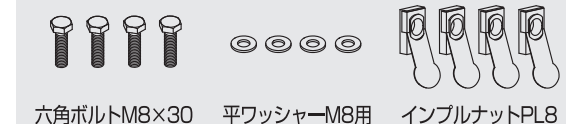
取扱説明書

このたびは「持出し手すり用物干金物［スクエア］」をお買い求めいただき、ありがとうございます。この商品は持出し手すりに、左右一対で取り付けて使用する物干金物です。この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に取り付けを行ってください。

※施工業者様へ
この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

① 各部の名称

■オプション品（別売品）

◯ 竿受けセット（品番：KC40-P01）

◯ シーラーセット（品番：KC40-P02）

◯ ステンレス竿（品番：KC40-P03）

◯ インプルナットセット（品番：DRY-06-17）

梱包内容をご確認いただき、不足、破損の有る場合は、お求めの販売店もしくは弊社までお申し出ください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。
⚠ 拡大損害が予想される事項
🚫 禁止行為
❗ 必ず行う
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

② 安全上のご注意

●使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

⚠ 警告(けいこく)　死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●設置の高さに注意する。足掛かり部から、物干金物の足掛かりまでの間隔を650mm以上確保すること。（旧公営住宅建築基準第36条）	小さな子供が足を掛けて手すりを乗り越え、落下するおそれがある。
	●十分に強度が確保できるように取り付ける。	ケガや器具損傷の原因になる。
	●ベランダに取り付ける場合、非常口・避難ハッチ・排気口の妨げとならない場所に取り付ける。	緊急時の避難などの妨げになったり、周辺機器の不具合のおそれがある。
	●シーツなどの大きなものを干した時、照明器具などに触れないように、設置場所に注意する。	ケガや器具損傷、火災の原因になる。

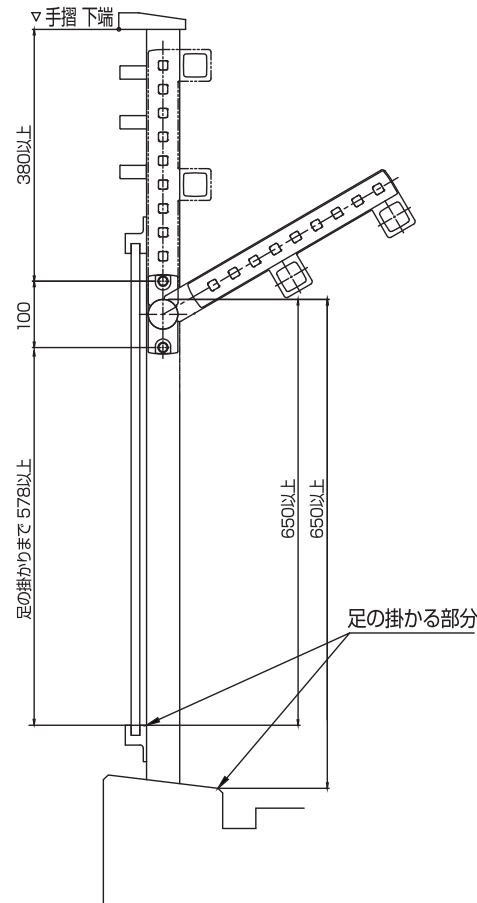
⚠ 注意(ちゅうい)　ケガや器具損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●物干し掛け以外の用途には使用しない。	器具損傷の原因になる。
	●耐荷重30kg（1セット）を超えた総重量の洗濯物を吊さない。	器物損傷のおそれがある。
	●砂（土）・ホコリ・コンクリート粉などが物干金物に付着すると、アーム角度の動きや音に影響を及ぼすので、粉塵などが付着しないように注意する。	器具損傷の原因になる。
	※工業地域又は温泉地域、沿岸付近などで使用する場合は、営業窓口まで要相談。	

③ 取付方法

●金属製の躯体に取り付けることができる。
●取付躯体の制限事項などを確認のうえ、適切な方法で取り付けること。
●手すり材の下端から380mm以上確保した位置に物干金物の台座上部のボルト穴が来るように取り付ける。
●床面または足掛かり部から物干金物の足掛かりまで、650mm以上の間隔を確保する。

⚠ 注意(ちゅうい)　ケガや器具損傷の原因となる。

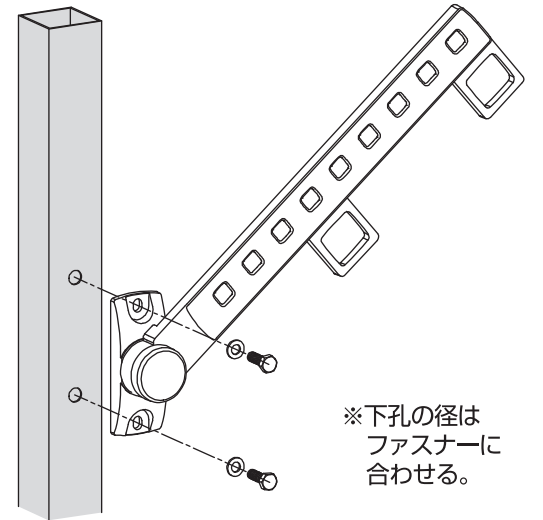
絵表示	重要事項	危害・損害
	●電動工具を使用する場合、必ずトルク調整を行う。インパクトドリルの使用は禁止する。	ネジ山・ネジが破損することが想定され、物干金物本体が落下するおそれがある。
	●本体を固い床に直接置かない。	本体にキズがつくおそれがある。
	●物干金物の取り付け場所や位置は、施主様と相談のうえ、決定する。 ●干している洗濯物などが、エアコンなどの通気、ガスや火災報知センサーなどの妨げにならない場所に設置する。 ●躯体側の内部構造及び外壁状態を十分把握し、強度が保持できるファスナー（ネジ・ボルト・アンカー類）を選択して取り付ける。 ●取付ファスナー部より浸水が想定されるので、取付穴およびその周辺に防水シール剤などを充填するなどして、浸水しないようにする。	

③ 取付方法

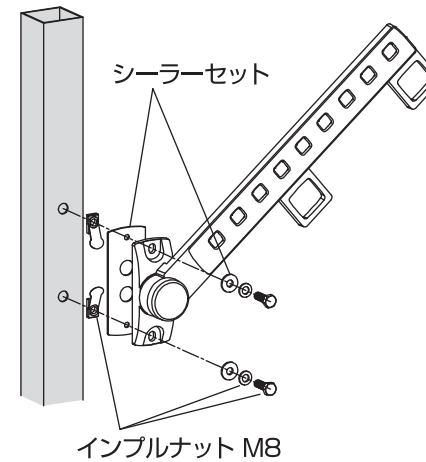
1.設置場所を決める。

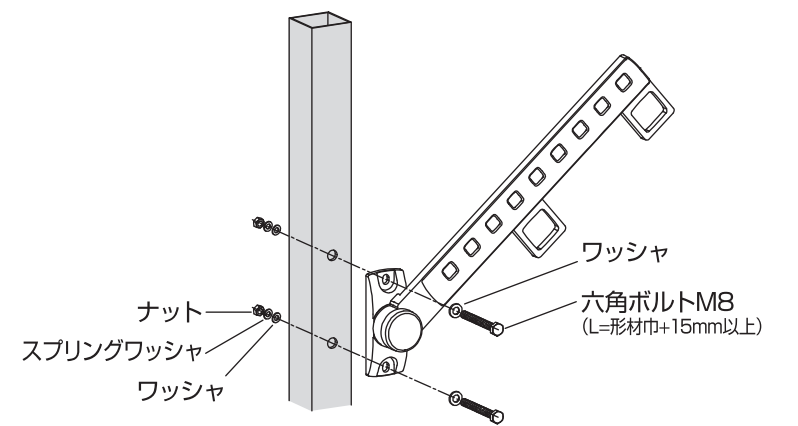
2.躯体（手すり支柱など）に物干金物を取り付けるための穴を上下2ヶ所、垂直になるようにあける。

3.物干金物を躯体（手すり支柱など）に対して平行にファスナーで取り付ける。
※左右を間違わないよう注意する。

4.手すり全体が組み上がってから、ぐらつきがないか、アームがスムーズに上げ下げできるか確認する。

5.収納状態にして、施工カバーを取り付ける。

■オプション品等の取付例　取付躯体に対して適切なものを選択する。

①インプルナット及びシーラーセットの取付方法（オプション品）

②手すり柱　貫通固定方法

※下記のファスナーは付属されていません。

③竿受けセットの取付方法（オプション品）

1. 左右の躯体（手すり支柱）内側（台座取付面）の寸法より22㎜短い物干し竿を用意する。
   ※物干し竿は外径がΦ32㎜（内径がΦ28㎜以上）のものを使用する。（※SUS竿は厚み 1㎜を使用してください。）
2. アームに竿受けを合わせて、竿受け取付ねじ（小ネジナベM4×12㎜）で固定する。
3. 左右のアームの竿掛け部に物干し竿を通す。
4. 物干し竿を竿受けの奥まで押し込む。
5. 竿固定ねじ（ドリルネジ皿 4×16㎜）で竿を固定する。
6. 反対側も2.4.5の取付作業を行なう。
7. アームがスムーズに上げ下げできるか確認する。
8. 収納状態にして、施工カバーを取り付ける。